

1. 背景

概要

設置根拠	「(仮称)いたばし総合ボランティアセンター」設置に関する基本構想」
設置目的	① ボランティア・NPO 活動の推進 ② ボランティア・NPO 活動の支援 ③ ボランティア・NPO 活動のネットワーク作り
組織	① 役員会（経営管理・意思決定機関） ② 運営委員会（センター運営方針・事業計画案の立案等） ③ 事務局（事業運営・実施に係る庶務、窓口相談及びネットワーク）

現状

いたばし総合ボランティアセンターは、「(仮称)いたばし総合ボランティアセンター」設置に関する基本構想」をもとに設置運営していますが、基本構想は平成16年に策定されており、策定後17年経過しています。そのため、生活様式やボランティア・市民活動を取り巻く環境が変化しており、さらには新たな国際目標であるSDGsの視点も求められています。

将来に向けて

センターの目指すべき姿について、改めて将来像を描くことにより、求められるビジョンが明確となり、多様な団体や区民が目標に向かうことで、センターがより活性化していくと考え、「いたばし総合ボランティアセンターあり方検討会」にて今後のセンターのあり方について考えをまとめました。

検討事項

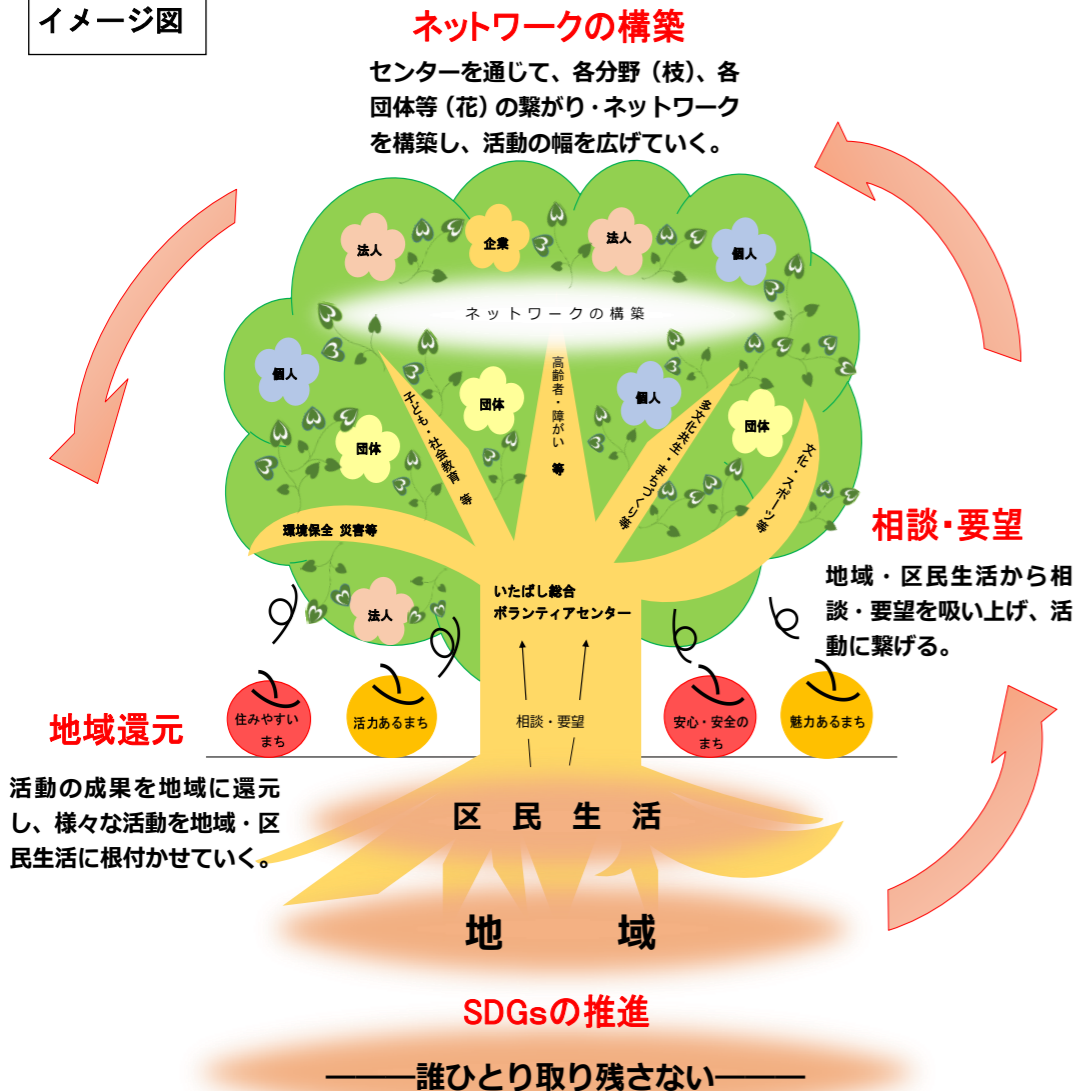
- 基本構想について
現在の基本構想及びセンターの役割について課題を洗い出し検討を行った。
- 災害ボランティアセンターについて
災害時だけでなく平時の役割も含め検討を行った。

2. 基本構想の見直し（案）

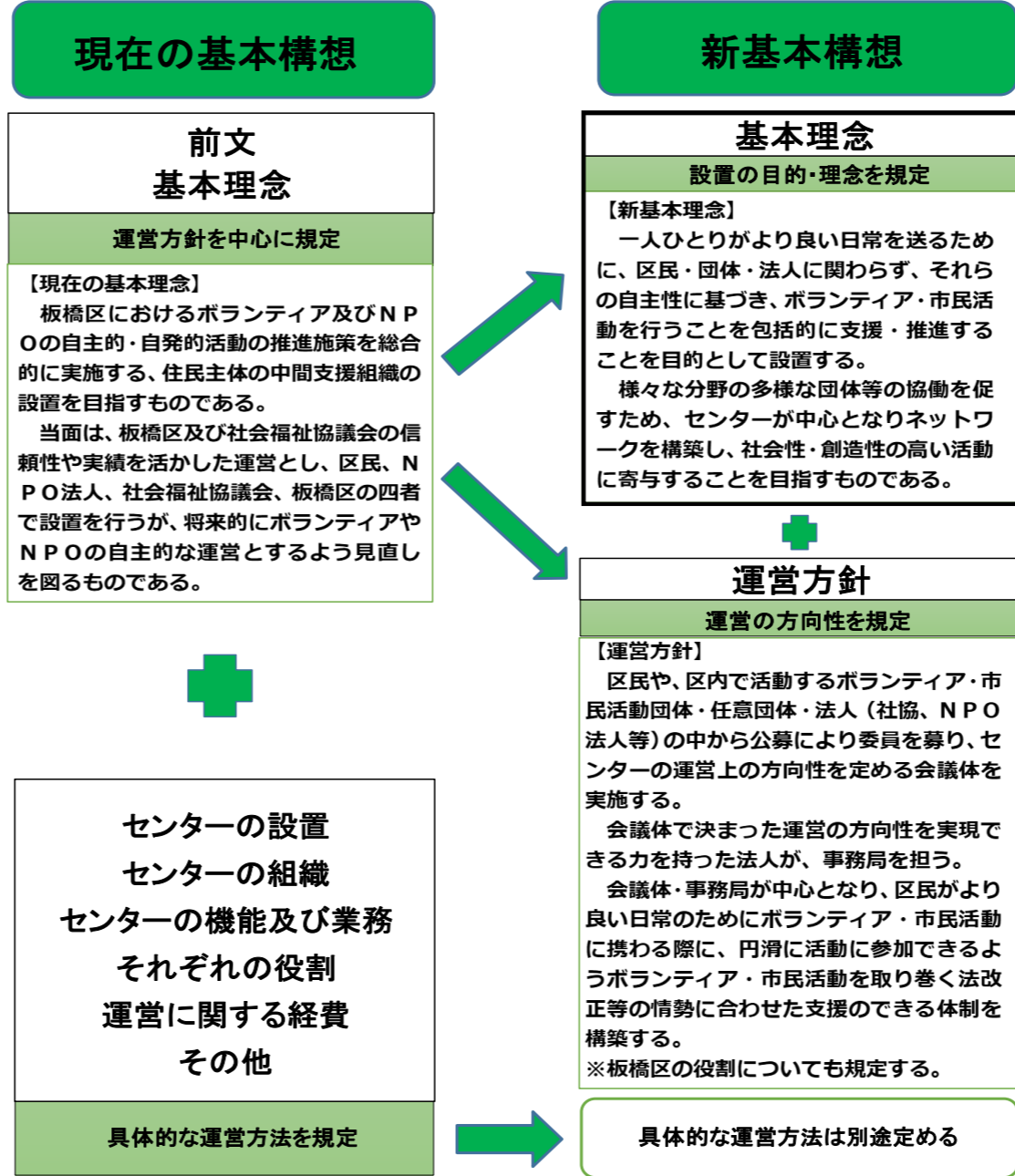
◆センターの将来像

区民活動の多様性を活かし、地域と共に歩む
いたばし総合ボランティアセンター

イメージ図



◆基本構想の見直し



3. 今後の展開

◆災害ボランティアセンターについて

近年多発する大災害の状況を受け、災害ボランティアセンターについては、中長期的に対応・検討するため、区と社会福祉協議会で課題共有・検討する会議体を設けました。ここでの内容をフィードバックし、社会情勢等に合わせ災害ボランティアセンターが円滑に運営できるよう体制を整えていきます。

◆今後の展開

今回の提言をもとに、今後のいたばし総合ボランティアセンターの運営の方向性を明確にするため、ボランティア活動推進協議会を、令和4年4月から開催します。

新基本構想がこれまでの基本構想といたばし総合ボランティアセンターの軌跡を最大限に生かし、尚且つ変容する多様なニーズに対応できるよう、ボランティア活動推進協議会で検討していきます。

今後のスケジュール
令和4年4月～ ボランティア活動推進協議会の設置（予定）
令和5年4月 新基本構想の策定（予定）